

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	クニマス里帰りプロジェクト事業									
担当課係名	企画政策	課	企画振興	係	作成者	高橋信次				
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画のページ 28				
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし								
	主要施策	観光客の誘客推進								
予算費目	一般	会計	2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費		
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度			新規/継続の区分		新規				
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/>	市民サービス	<input type="checkbox"/>	公共事業	<input type="checkbox"/>	施設維持管理	<input type="checkbox"/>	補助金	<input type="checkbox"/>	内部管理
根拠法令等	なし									
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/>	自治事務	<input type="checkbox"/>	法定受託事務						
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/>	直営	<input type="checkbox"/>	直営（一部民間委託）	<input type="checkbox"/>	民間委託（全部）	<input type="checkbox"/>	補助		

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	西湖で生息が確認されたクニマスの里帰りを熱望する市民・県民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	クニマスの里帰りに向けた環境整備を進めることによる田沢湖・クニマスの歴史への関心を高め、もう一度多くの魚の棲める田沢湖の再生を目指す
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	秋田県と協働で進める「クニマス里帰りプロジェクト事業」で、シンポジウム開催、姉妹湖提携交流事業、田沢湖再生計画検討、クニマス生態調査、田沢湖水質改善等を実施

## 【事務事業の推移】

		項目	単位	23年度実績			
効果	活動指標	シンポジウム開催数	目標	回	1		
			実績	回	1		
			達成度	%	100.0%		
	成果指標	シンポジウム参加者数	目標	人	1,000		
			実績	人	600		
			達成度	%	60.0%		
投下コスト	項目		総事業費	23年度決算額(千円)			
	事業費(人件費を除く)(A)		3,012	3,012			
	人件費(B)		—	2,544			
		職員数	—	0.30			
		職員平均人件費	—	8,479			
	(A)+(B) 投下コスト		—	5,556			
	財源内訳	国庫支出金			0		
		県支出金			0		
		地方債			0		
		その他			0		
		一般財源		3,012	5,556		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,556,000			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	187			

## 【事務事業の今までの成果】

クニマスに関する知識、田沢湖の歴史、田沢湖の現状認識、富士河口湖町との友好関係の構築など、クニマス里帰りのための基礎的環境づくりが整備された

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国・県・東北電力が取り組んでいる田沢湖の水質改善が進んでいないため、H24から秋田県が水質改善検討会を設置。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	クニマスの里帰りを可能とする田沢湖の水質改善・環境保全に対する要望が大きくなってきている。クニマス史料館整備が望まれている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>B 2</b>	A 現状のまま継続（実施）	平成23年度が事業所年度であり、事業効果を検証し、関係機関と協議の上、より効果的な施策を展開する必要がある。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

富士河口湖町との交流事業継続実施、田沢湖再生基本計画策定検討、クニマス史料館整備構想の検討

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>B 2</b>	「秋田県市町村未来づくり協議プログラム」との整合性を保ちながら、事業拡充が求められます。またクニマス資料館については、市民への十分なコンセプト等の周知が必要と考えられます。

